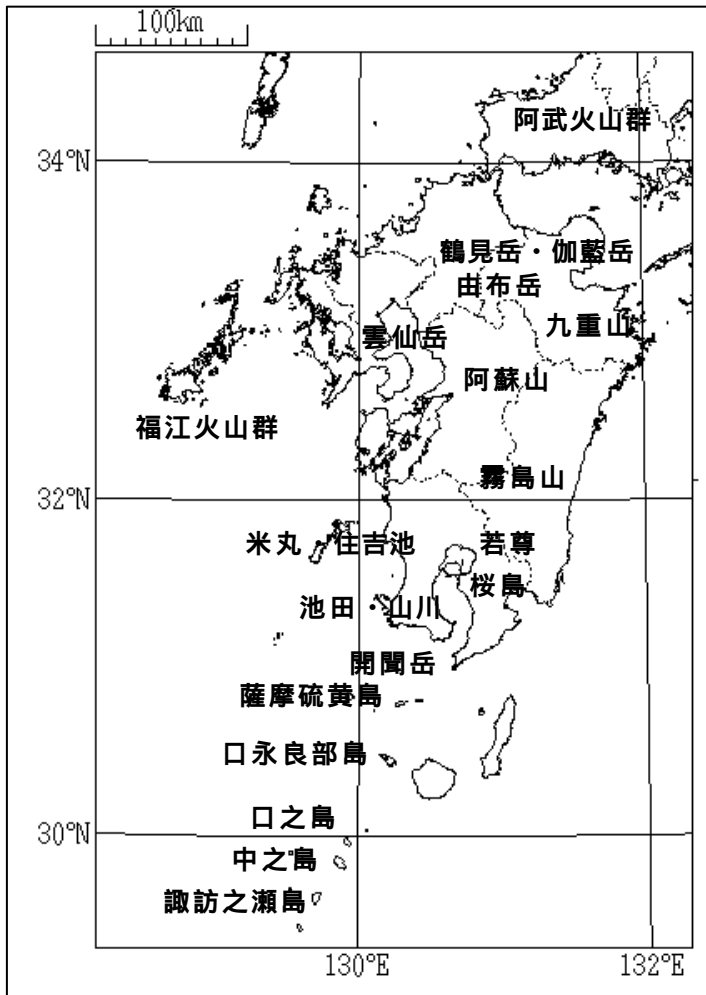


九州地方の火山活動解説資料(平成 17 年 5 月)

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

山口・九州地方の火山



- ：噴火した火山
- ：観測データに変化があった火山
- ：解説を記載した火山
- ：その他の火山

：桜島(火山活動度レベル 2 (比較的静穏な噴火活動))

ごく小規模の噴火はありましたが、爆発的噴火等は発生しませんでした¹⁾。火山性地震の発生は少ないなかで、A型地震はやや多い状態が続いています。

：諏訪之瀬島(火山活動度レベル 3 (小規模な噴火が発生かその可能性))

爆発的噴火が 30 日 4 回、31 日 6 回発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

：阿蘇山(火山活動度レベル 3 (小規模噴火が発生または可能性) 2 (やや活発な火山活動))

噴火はありませんでした。中岳第一火口では湯だまりの表面温度が高く、火口底北側の一部で赤熱現象を観測するなど熱的活動が高まっています。また、火山性連続微動が継続するなど、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

：霧島山(火山活動度レベル 御鉢は 2 (やや活発な火山活動)、新燃岳は 1 (静穏な火山活動))

御鉢では、監視カメラで時々火口縁上に噴気が上がっているのを観測するなど火山活動はやや活発でした。新燃岳では、火山性地震の発生は少なく火山活動は静穏でした。

：口永良部島(火山活動度レベル 2 (やや活発な火山活動))

火山性地震の発生はやや多く、火山活動はやや活発でした。

1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは一定の規模以上の噴火の回数を計数しています。

：薩摩硫黄島(火山活動度レベル 2 (やや活発な火山活動))

噴火は観測されず期間中の活動は静穏でしたが、火山性地震や火山性微動が時々発生するなど長期的にはやや活発な状態が続いています。

：九重山(火山活動度レベル 1 (静穏な火山活動))、雲仙岳(火山活動度レベル 1 (静穏な火山活動))

火山活動に大きな変化は認められず、静かな状態が続きました。

火山情報発表状況

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第 22 号 火山観測情報第 23 号 火山観測情報第 24 号	2 日 11 時 30 分 6 日 11 時 00 分 9 日 11 時 15 分	火山活動は活発(火山活動度レベルは 3)。 前 1 週間の火山活動状況(地震・微動の発生)と現地観測結果(中岳第一火口内の状況)。
	火山観測情報第 25 号	13 日 15 時 00 分	小規模な噴火の可能性は低くなった(火山活動度レベルは 3 2)。 4 月 14 日以降の火山活動状況(中岳第一火口内の状況、火山性連続微動と地震の発生、全磁力・地殻変動観測の結果)。火山活動がより活発になったことを示すデータは検出されず、小規模噴火の可能性は低くなったと判断される。やや活発な火山活動が続く。
	火山観測情報第 26 号 火山観測情報第 27 号	20 日 11 時 00 分 27 日 11 時 00 分	火山活動はやや活発(火山活動度レベルは 2)。 前 1 週間の火山活動状況(地震・微動の発生)と現地観測結果(中岳第一火口内の状況)。
口永良部島	火山観測情報第 19 号	6 日 14 時 00 分	火山活動はやや活発(火山活動度レベルは 2)。 前情報発表以降の火山活動状況(地震・微動の発生、噴気や火口の状況)。
諏訪之瀬島	火山観測情報第 2 号	31 日 09 時 50 分	噴火活動の活発化(火山活動度レベルは 3)。 30 日から噴火活動が活発化、爆発的噴火が 30 日 4 回、31 日 09 時まで 6 回発生。灰白色の噴煙が火口上 1200m まで上がる。

次回の火山活動解説資料の公表は 7 月 11 日(月)の予定です。

各火山の詳細については、気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)でご覧いただけます。

気象庁 HP 「気象・海洋・地震・火山の資料」「火山の資料」 定期刊行物「火山活動解説資料」

(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm)